

ICFを用いた利用者とのかかわり方について (ケアマネージャー、生活相談員研修)

【専門講座】

講師 特別養護老人ホーム やすらぎの家
副施設長 林 正 氏

- ICF について改めて考える
- 利用者に対してケアマネ、生活相談員のかかわり方とは
- 施設における自立支援の考え方、理解の仕方とは

※ ICF の手法を用いたうえで入居者に対してケアマネージャー・生活相談員の立場からどのようにかかわっていくかを実践的にご案内します。

【研修内容】

2001年にWHO（世界保健機関）が提唱した、国際生活機能分類 ICF（International Classification of Functioning, Disability and Health）は1981年の国際障害者年以降、障害を個人の問題とするのではなく、環境との関係でとらえる考え方が広まってきています。

今回の研修では改めてICFについてどのようにとらえていくかを考え、さらに今現場で働いているケアマネージャー・生活相談員が利用者に対してどのようなスタンスやかかわり方をもって全人的に支えていくかを熱く解説します。

社会福祉法人 吹上苑 理事、特別養護老人ホームやすらぎの家 副施設長

《経歴》

特別養護老人ホーム 青梅療育院 相談課課長 介護支援専門員
東京都社会福祉協議会 職員研修委員会委員
現職 特別養護老人ホームやすらぎの家 理事 副施設長
東京都介護支援専門員 実務、専門Ⅰ、専門Ⅱ講師
東京都社会福祉協議会 介護報酬請求事務研修 応用編講師
青梅市ケアマネ連絡会 顧問

《著書》

日総研出版 「介護報酬加算 算定手続きとルール、書式」
主婦の友出版 「ケアマネジャーになる本」